

高知県感染症発生動向調査（月報）

2010年12月

高知県感染症情報センター
高知県衛生研究所

TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869

<http://www.kenkou.med.pref.kochi.lg.jp/eiken/>

E-mail : kansen@ken4.pref.kochi.jp

全国情報

第48週（11月29日～）から第52週（～1月2日）までの5週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。12月の上位6疾患の合計は117.27で、11月71.70（5週に補正、以下同じ）の1.6倍に増加した。主な原因は感染性胃腸炎（11月1位45.46）の1.7倍の急増であるが、第50週をピークに減少傾向となるのか注意すべきである。水痘（同3位6.75）は約1.7倍、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（同2位7.21）は1.4倍、注目のインフルエンザ（同12位1.55）は4.8倍、RSウイルス感染症（同7位2.86）は2倍と増加した。流行性耳下腺炎（同4位5.88）は軽度の増加であるが、上位6疾患はすべて増加している。マイコプラズマ肺炎（11月5位3.36→12月8位3.01）と流行性角結膜炎（6位3.04→7位3.43）は順位を下げた。

表1 各週定点当たり報告数（全国）

	第48週	第49週	第50週	第51週	第52週	計
1 感染性胃腸炎	15.84	17.23	18.46	16.18	8.59	76.30
2 水痘	2.15	2.23	2.54	2.64	2.05	11.61
3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.03	2.15	2.47	2.25	1.17	10.07
4 インフルエンザ	0.70	0.93	1.41	2.06	2.30	7.40
5 流行性耳下腺炎	1.23	1.30	1.27	1.30	0.94	6.04
6 RSウイルス感染症	0.93	1.13	1.33	1.38	1.08	5.85

県内情報

1. 全国との対比（定点当たり報告数）

12月の高知県の上位6疾患の合計は111.66で、11月39.38（5週に補正、以下同じ）の2.8倍に急増し、全国とほぼ同じ報告数となった（9月から11月は全国の55～74%）。その主因は感染性胃腸炎（11月1位21.54）が3.7倍と大幅に増加し、全国を上回ったためである。水痘（同2位7.25）は1.6倍、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（同3位4.41）は2.2倍、RSウイルス感染症（同8位1.41）は4.1倍に増加し、それぞれ全国と同程度に達した。マイコプラズマ肺炎（同6位1.79）は全国8位3.01、流行性角結膜炎（同5位2.09）は全国7位3.43よりも少ない。インフルエンザは10位0.87、流行性耳下腺炎は9位1.06で全国よりもかなり少ない。

表2 各週定点当たり報告数（高知県）

	第48週	第49週	第50週	第51週	第52週	計
1 感染性胃腸炎	10.83	16.13	19.47	20.23	13.03	79.70
2 水痘	2.43	2.33	2.40	2.87	1.87	11.90
3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.77	1.83	2.43	2.23	1.27	9.54
4 RSウイルス感染症	0.40	0.80	1.23	2.00	1.33	5.77
5 マイコプラズマ肺炎	1.00	0.14	0.71	0.29	0.29	2.43
6 流行性角結膜炎	0.00	0.00	1.00	0.33	1.00	2.33

2. 全体の傾向

麻疹と風しんの報告なし。

感染性胃腸炎（Norovirusによる）とRSウイルス感染症が急増し、その他の疾患も増加したが、インフルエンザの流行は来月以降となる見通しである。一方、流行性耳下腺炎や流行性角結膜炎は少ない報告数が持続している。

MRワクチンをはじめとする定期予防接種や1月から公費補助されている3つのワクチンの接種率向上のため、関係各位の熱意あるご協力をお願いします。

3. 主な疾患の発生状況

1) インフルエンザ

報告数 42名（11月 34名）で僅かな増加に留まっているが、各週の定点あたり報告数は第48週から50週0.02～0.06から第51週0.25、第52週0.52と確実に増加してきており、全国の流行状況を合わせて考えると2011年第1週以降はさらに増加すると推測される。ウイルスは1月検出分（速報）と合わせると、AH1pdm, AH3が各1件検出されているが、1月に搬入された検体7件は全てAH1pdmであり、今後の流行の主体はAH1pdmとなる可能性が大きい。

2) 咽頭結膜熱

報告数 58名（11月 55名）。僅かに増加しており、11月同様に12月としては過去10年間で最も多い。ウイルスはAdenovirus2型が1件検出された。

3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 286名（11月 106名）。今シーズンは報告数が多いと予測されていた通り、急激に増加した。これまでは6月頃まで3桁の報告数が持続しているため、今後の動向に注意したい。血清型T-4が2件検出された。

4) 感染性胃腸炎

報告数 2,391名（11月 517名）と急増加した。過去10シーズンでは2,000名以上が2ヵ月続いたことは無く、1月は減少すると推測される。過去10シーズンの1,000名以上の報告は1～5ヵ月と異なるため、今後は流行の持続に注目したい。ウイルスはNorovirus GII 38件、Sapovirus 2件が検出され、現在はNorovirusの流行である。

5) 水痘

報告数 357名（11月 174名）。過去10年間では400名以上の月もあるが、2007年以降では最も多い。

6) 手足口病

報告数 25名（11月 7名）。少ない報告数が続いている。主にEnterovirus 71による7月1,621名と飛びぬけた過去最高値を呈したが、今後の流行がどのように推移するのか注目したい。

7) 伝染性紅斑

報告数 17名（11月 3名）。1桁の報告数が続くかと思われたが再び2桁に復した。

8) 突発性発疹

報告数 64名（11月 33名）。60名程度の通常の報告数に戻った。

9) 百日咳

報告数 4名（11月 7名）。3ヵ月連続で1桁である。

10) ヘルパンギーナ

報告数 5名（11月 10名）。3～5月までは10名前後の報告数で推移する。

11) 流行性耳下腺炎

報告数 35名（11月 41名）。今年の最高は11月の41名で、過去10年間で最高値が3桁に達しなかった年はない。2桁が2009年8月から17ヵ月連続しており、いつまでこの状態が続くのか注目したい。

12) RSウイルス感染症

報告数 173名（11月 34名）と急速に増加した。乳児が罹患するとしばしば重症となる疾患であり、ピークと持続に注意が必要である。

13) 流行性角結膜炎

報告数 7名（11月 5名）。2桁の報告数は2009年ではなく、2010年2ヵ月のみと少ない報告が持続している。

14) マイコプラズマ肺炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 17名（11月 10名）。3ヵ月連続で2桁の報告数である。1～4歳3名、15～19歳・25～29歳・30～34歳・35～39歳各2名、40～45歳・45～49歳各1名、70歳以上4名で小中学生の報告は少ない。

基幹定点の月報疾患

15) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 27名（11月 39名）。変化なく、年齢は0歳2名、60～69歳6名、70歳以上17名である。

16) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 11名（11月 2名）。6月以来の2桁の報告数である。0～4歳5名、70歳以上5名である。

高知県感染症発生動向調査部会

会長 吉川 清志

高知県における全数報告疾患（平成11年4月～平成23年1月21日現在）

類型	病名	報告年												総計	
		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22		23
2	結核									131	149	163	156	8	607
	計									131	149	163	156	8	607
3	コレラ	1					1						1		3
	パラチフス	2													2
	細菌性赤痢	11	4	2		3	1	2	2						25
	腸チフス		1						1						2
	腸管出血性大腸菌感染症	11	8	18	15	2	10	9	3	25	4	19	12		136
計	25	13	20	15	5	12	11	6	25	4	19	13		168	
4	A型肝炎	3	5	3	2	4	2	1	4	1			3		28
	Q熱	1	1	2				1							5
	オウム病			1		1									2
	つつが虫病		9	5	2	4	5	6	7	2	5	4	2	1	52
	マラリア								2						2
	レジオネラ症		2		1		1				9	7	3	1	24
	日本紅斑熱	15	3	14	7	14	13	10	3	1	6	6	7		99
	日本脳炎	1	1	1					1			1	1		6
	レプトスピラ症											1			1
	E型肝炎												1		1
	デング熱												1		1
計	20	21	26	12	23	21	18	17	4	20	19	18	2	221	
5	アメーバ赤痢		2	2	2	1	2	2	2	1		3	2		19
	ウイルス性肝炎	11	4	3	5	2	2	3	5	5	4	3	3		50
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	4		4	3	3		6		1	3		26
	ジアルジア症		1	2	1						1				5
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1							1				2
	急性脳炎								1	1	2	5	1		10
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1	1	1				1		1		1	6
	後天性免疫不全症候群	2		2		2	4	2	3	6	3	3	2		29
	髄膜炎菌性髄膜炎									1					1
	破傷風		3	2	2	1		1	1	2	3	1	1		17
	梅毒	2	3	4	4	12	9	6	27	6	5	5	2	1	86
	麻しん										5				5
	風しん										1	1			2
計	16	14	21	15	23	20	17	39	29	25	23	14	2	258	
新型	新型インフルエンザ										67				67
	計										67				67
総計		61	48	67	42	51	53	46	62	189	198	291	201	12	1321

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前月	前年同月
			中央東	高知市	中央西					
内科・ 小児科	インフルエンザ	4	2	23	6	3	4	42	34	6,103
小児科	咽頭結膜熱		11	27	2	3	15	58	55	6
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	10	53	131	28	10	54	286	106	74
	感染性胃腸炎	138	551	1101	285	177	139	2,391	517	504
	水痘	8	67	201	32	43	6	357	174	102
	手足口病		9	12	2	2		25	7	25
	伝染性紅斑	1		8	7	1		17	3	6
	突発性発疹	2	15	29	4	7	7	64	33	52
	百日咳			3	1			4	7	7
	ヘルパンギーナ		2	1			2	5	10	17
	流行性耳下腺炎		1	8	1	19	6	35	41	42
	RSウイルス感染症		28	139			6	173	34	132
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎			7				7	5	3
STD	性器クラミジア感染症						1	1	5	5
	性器ヘルペスウイルス 感染症									
	尖圭コンジローマ									1
	淋菌感染症						1	1	2	
基幹	細菌性髄膜炎			4				4	2	1
	無菌性髄膜炎			1			1	2	2	1
	マイコプラズマ肺炎			16			1	17	10	9
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			1				1		
	メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		5	20			2	27	39	28
	ペニシリン耐性肺炎 球菌感染症			11				11	2	15
	薬剤耐性緑膿菌 感染症			2				2		2
計		163	744	1,745	368	271	239	3,530	1,088	7,135
前月		43	153	502	102	94	194			
前年同月		378	1033	2,700	806	677	1541			
小児科定点数		2	7	11	3	2	5			

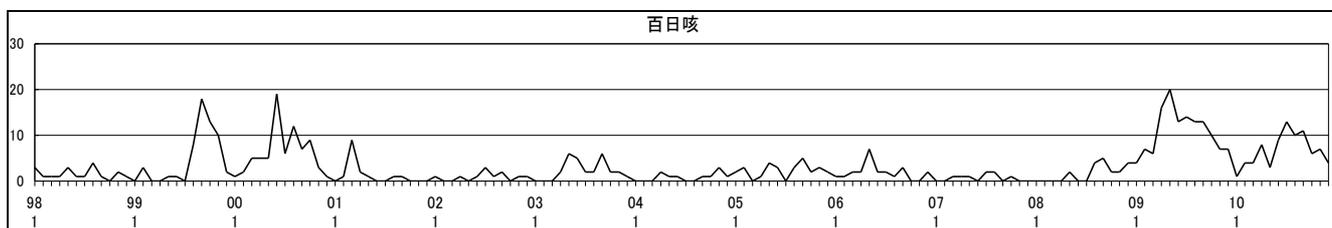
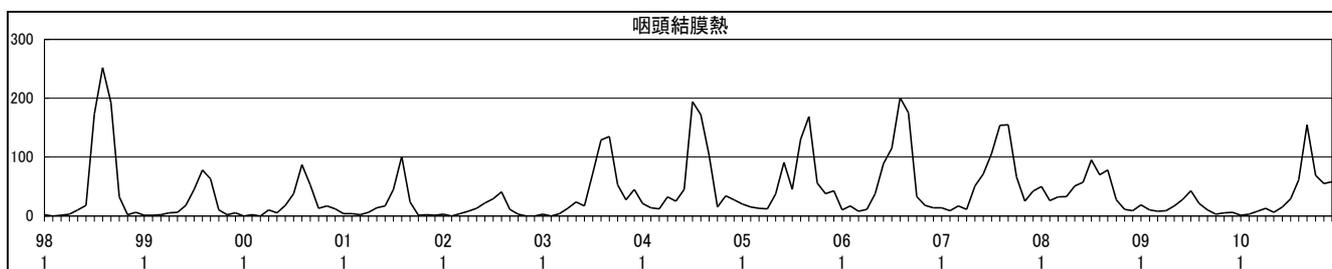
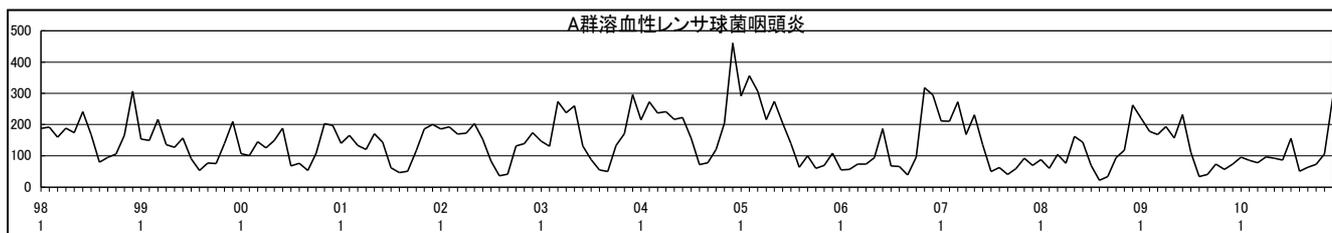
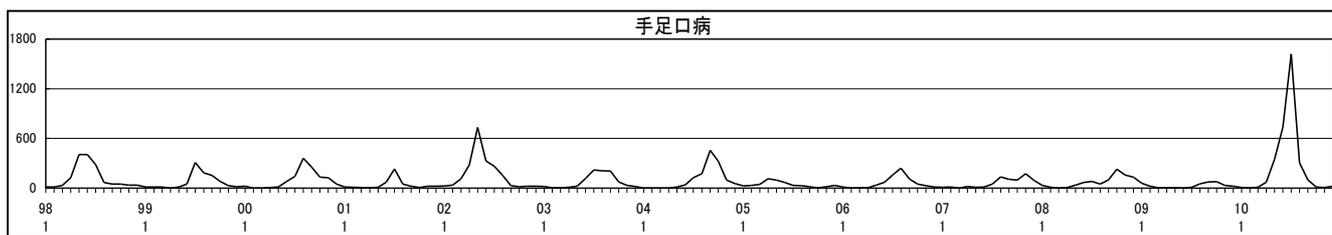
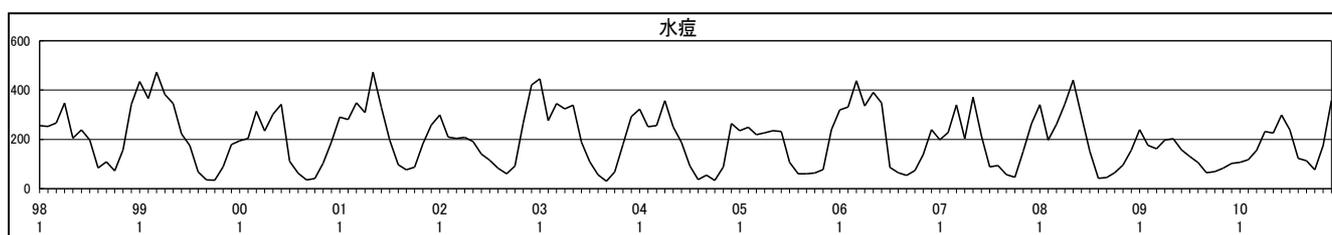
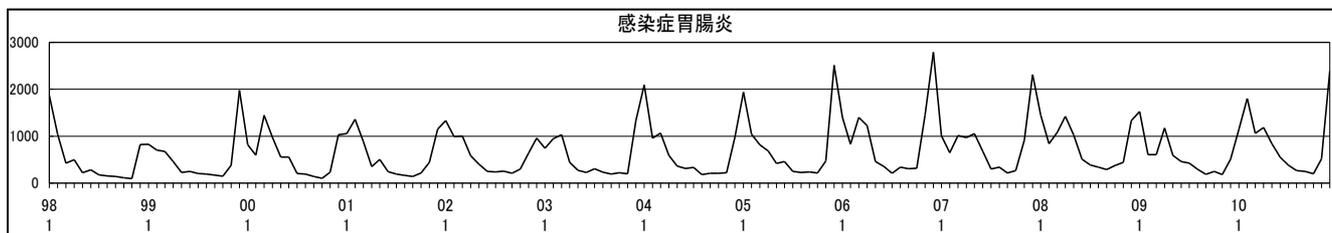
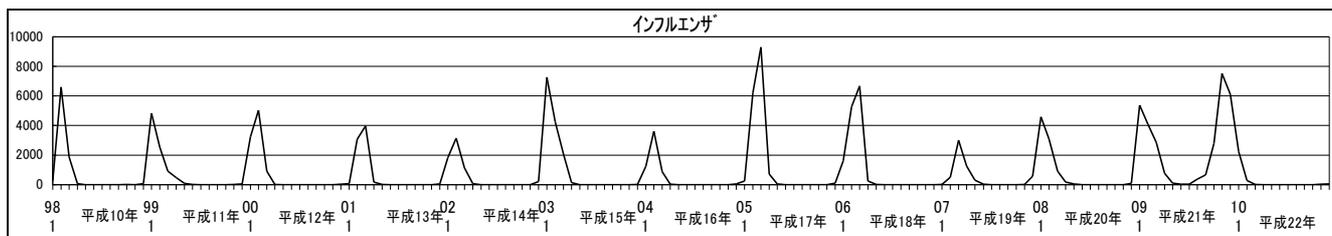
2010年

12月

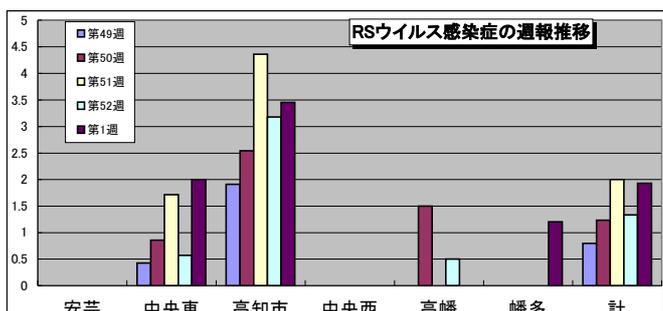
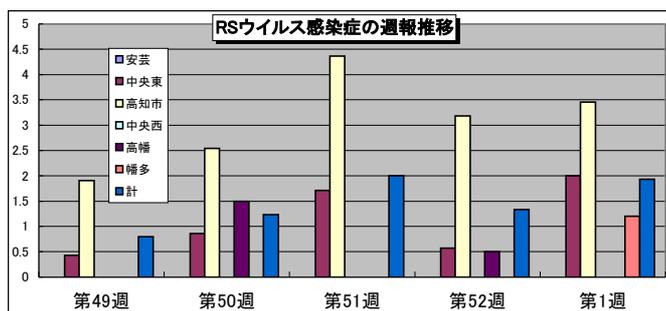
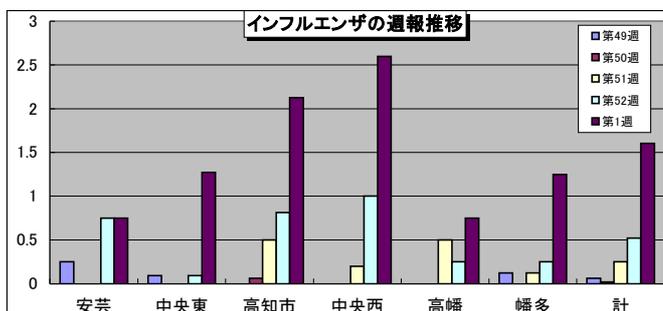
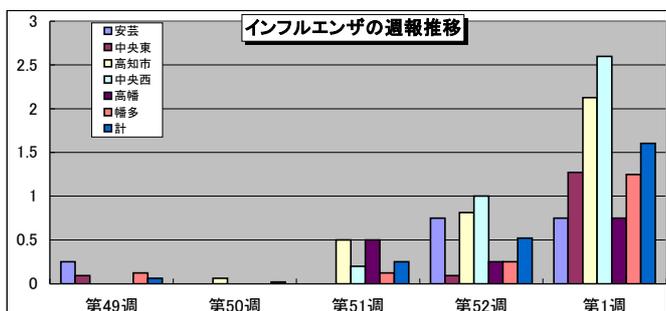
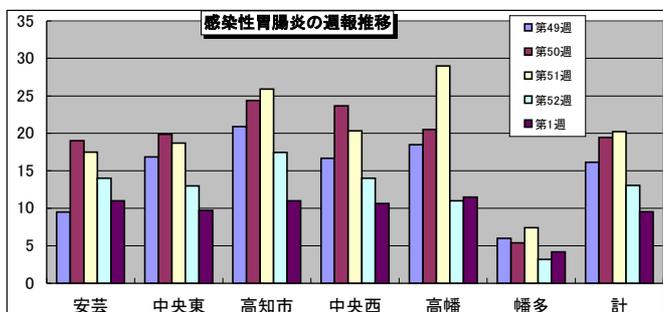
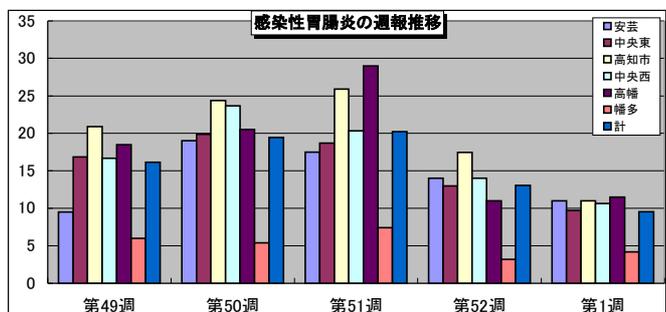
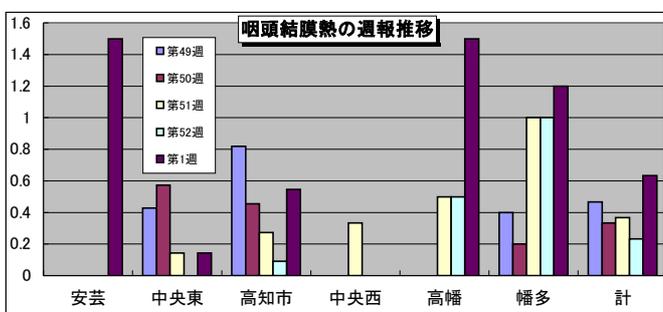
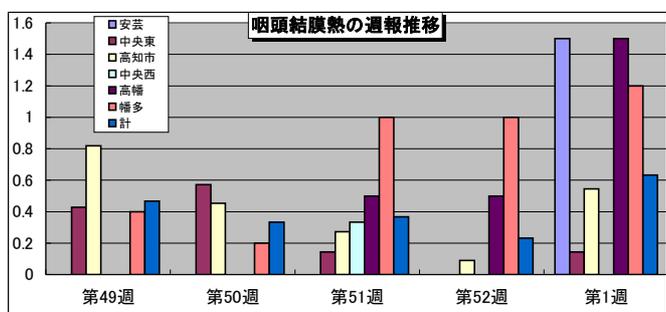
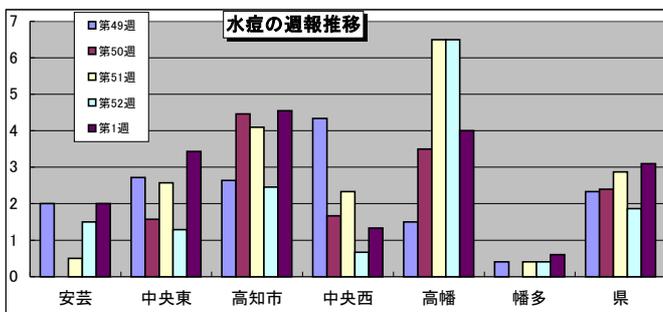
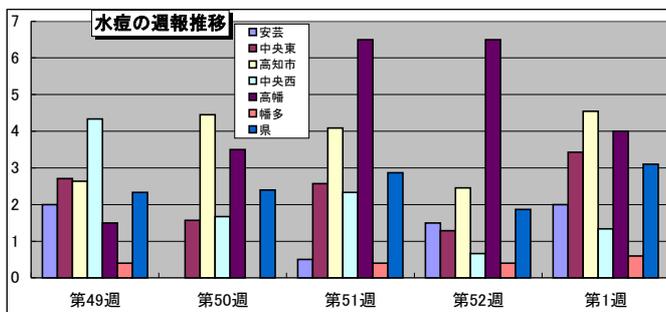
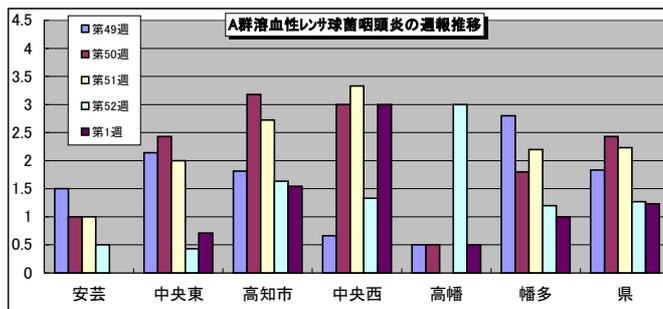
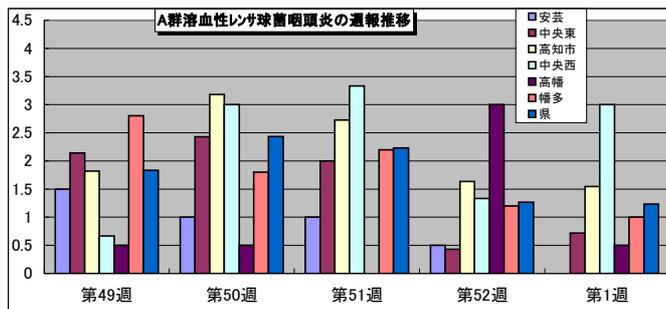
定点当たりの人数

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前月	前年同月
			中央東	高知市	中央西					
内科・ 小児科	インフルエンザ	1.00	0.18	1.44	1.20	0.75	0.50	0.88	0.71	127.15
小児科	咽 頭 結 膜 熱		1.57	2.45	0.67	1.50	3.00	1.93	1.83	0.20
	A群溶血性レンサ球菌咽 頭 炎	5.00	7.57	11.91	9.33	5.00	10.80	9.53	3.53	2.47
	感 染 性 胃 腸 炎	69.00	78.71	100.09	95.00	88.50	27.80	79.70	17.23	16.80
	水 痘	4.00	9.57	18.27	10.67	21.50	1.20	11.90	5.80	3.40
	手 足 口 病		1.29	1.09	0.67	1.00		0.83	0.23	0.83
	伝 染 性 紅 斑	0.50		0.73	2.33	0.50		0.57	0.10	0.20
	突 発 性 発 疹	1.00	2.14	2.64	1.33	3.50	1.40	2.13	1.10	1.73
	百 日 咳			0.27	0.33			0.13	0.23	0.23
	ヘルパンギーナ		0.29	0.09			0.40	0.17	0.33	0.57
	流行性耳下腺炎		0.14	0.73	0.33	9.50	1.20	1.17	1.37	1.40
	RSウイルス感染症		4.00	12.64		3.00		5.77	1.13	4.40
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎			7.00				2.33	1.67	1.00
STD	性器クラミジア感染症						1.00	0.17	0.83	0.83
	性器ヘルペスウイルス 感 染 症									
	尖圭コンジローマ									0.17
	淋 菌 感 染 症						1.00	0.17	0.33	
基幹	細菌性髄膜炎			0.80				0.57	0.29	0.14
	無菌性髄膜炎			0.20			1.00	0.29	0.29	0.14
	マイコプラズマ肺炎			3.20			1.00	2.43	1.43	1.29
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			0.20				0.14		
	メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		5.00	4.00			2.00	3.86	5.57	4.00
	ペニシリン耐性肺炎 球 菌 感 染 症			2.20				1.57	0.29	2.14
	薬剤耐性緑膿菌 感 染 症			0.40				0.29		0.29
小児科定点分計		80.50	105.47	152.35	121.87	134.75	46.30	114.71	33.61	159.38
前 月		21.50	21.13	39.60	34.00	47.00	37.53			
前年同月		119.50	101.97	178.95	171.73	183.75	198.30			

注目される疾患別月別推移



2010年～2011年週報推移(定点当たり)



高知県感染症情報（月報）

平成 22年12月

検査情報

ウイルス、細菌の分離状況

12月はウイルス 62件、細菌 14件の搬入があり、そのうちウイルス 34件、細菌 7件の病原体を検出し、また、11月に搬入された検体でウイルス 16件を検出した。検出ウイルスの内訳は、*Influenza virus* AH1pdm 1件、*Adenovirus 2* 4件、*Adenovirus 3* 1件、*Adenovirus 40/41* 2件、*Parechovirus* NT 1件、*Norovirus* GII 38件、*Sapovirus* 2件、*Poliovirus 2* 1件、*Herpes simplex virus 1* 1件、また、細菌の内訳は *Streptococcus pyogenes* T-4 2件、*Mycoplasma pneumoniae* 4件、*Bordetella pertussis* 1件であった。

ウイルス、細菌の分離状況

No.	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料	採取日	ウイルス、細菌の検出
1	3歳	女	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	37.8℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	11.18	<i>Streptococcus pyogenes</i> T-UT
2	9歳	男	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	上気道炎、いちご舌、血尿	咽頭ぬぐい液	12.15	<i>Streptococcus pyogenes</i> T-4
3	7歳	男	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	37.2℃、上気道炎、気管支炎	咽頭ぬぐい液	12.05	<i>Streptococcus pyogenes</i> T-4
4	10歳	女	マイコプラズマ肺炎	39.9℃、嘔吐、咳嗽	咽頭ぬぐい液	12.20	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
5	6歳	男	マイコプラズマ肺炎	39.5℃、咳嗽	咽頭ぬぐい液	12.13	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
6	11歳	男	マイコプラズマ肺炎	39.5℃、咳嗽	咽頭ぬぐい液	12.07	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
7	9歳	男	マイコプラズマ肺炎	38.4℃、咳嗽	咽頭ぬぐい液	12.01	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
8	13歳	女	百日咳	咳嗽	咽頭ぬぐい液	12.14	<i>Bordetella pertussis</i>
9	1歳	男	感染性胃腸炎	嘔吐、下痢	便	10.29	<i>Poliovirus 2</i>
10	6歳	女	咽頭結膜熱	39.2℃、咽頭痛	咽頭ぬぐい液	11.01	<i>Adenovirus 3</i>
11	1歳	女	咽頭結膜熱	38.7℃、下痢	咽頭ぬぐい液	10.30	<i>Adenovirus 2</i>
12	4歳	女	ヘルパンギーナ	39.7℃、上気道炎、口内炎	咽頭ぬぐい液	11.15	<i>Herpes simplex virus 1</i>
13	1歳	女	咽頭結膜熱	39.0℃	咽頭ぬぐい液	11.12	<i>Adenovirus 2</i>
14	1歳	女	感染性胃腸炎	37.5℃、下痢	便	11.12	<i>Adenovirus 40/41</i> <i>Parechovirus</i> NT
15	5歳	女	感染性胃腸炎	腹痛、下痢	便	11.16	<i>Adenovirus 40/41</i>
16	1ヵ月	女	感染性胃腸炎	36.8℃、嘔吐、下痢	便	11.24	<i>Norovirus</i> G II
17	1歳	男	感染性胃腸炎	下痢	便	11.29	<i>Norovirus</i> G II
18	7歳	女	感染性胃腸炎	腹痛、嘔吐	便	11.28	<i>Norovirus</i> G II
19	1歳	男	感染性胃腸炎	嘔吐、下痢	便	11.26	<i>Norovirus</i> G II
20	1歳	女	感染性胃腸炎	嘔吐	便	11.21	<i>Norovirus</i> G II
21	4歳	男	咽頭結膜熱	39.0℃	咽頭ぬぐい液	11.26	<i>Adenovirus 2</i>
22	2歳	男	感染性胃腸炎	36.0℃、腹痛、嘔吐、下痢	便	11.26	<i>Norovirus</i> G II
23	1歳	女	感染性胃腸炎	嘔吐、下痢	便	11.29	<i>Norovirus</i> G II
24	3歳	女	感染性胃腸炎	36.5℃、嘔吐	便	11.30	<i>Norovirus</i> G II
25	1歳	男	感染性胃腸炎	咳嗽、鼻汁	便	12.01	<i>Norovirus</i> G II
26	1歳	女	感染性胃腸炎	37.6℃、嘔吐、下痢、水痘中	便	12.02	<i>Norovirus</i> G II
27	5歳	男	感染性胃腸炎	36.1℃、嘔吐、下痢	便	12.02	<i>Norovirus</i> G II
28	6歳	男	感染性胃腸炎	37.4℃、腹痛、嘔吐、下痢、鼻汁	便	12.03	<i>Norovirus</i> G II
29	2歳	男	感染性胃腸炎	36.4℃、嘔吐	便	12.02	<i>Norovirus</i> G II
30	11ヵ月	女	感染性胃腸炎	37.2℃、嘔吐、咳嗽	便	12.06	<i>Sapovirus</i>
31	3歳	男	感染性胃腸炎	嘔吐	便	12.06	<i>Norovirus</i> G II
32	8ヵ月	女	咽頭結膜熱	38.4℃	咽頭ぬぐい液	12.03	<i>Adenovirus 2</i>
33	9ヵ月	女	感染性胃腸炎	嘔吐、下痢	便	12.01	<i>Norovirus</i> G II
34	2ヵ月	女	感染性胃腸炎	39.0℃、下痢	便	12.06	<i>Norovirus</i> G II
35	3歳	女	感染性胃腸炎	37.5℃、腹痛、嘔吐、下痢	便	12.06	<i>Norovirus</i> G II
36	5ヵ月	女	感染性胃腸炎	嘔吐・嘔気、下痢、発疹	便	12.06	<i>Norovirus</i> G II
37	3歳	女	感染性胃腸炎	嘔吐・嘔気、下痢	便	12.06	<i>Norovirus</i> G II
38	1歳	女	感染性胃腸炎	嘔吐、下痢	便	12.06	<i>Norovirus</i> G II
39	1歳	女	感染性胃腸炎	嘔吐、下痢	便	12.13	<i>Norovirus</i> G II
40	2歳	男	感染性胃腸炎	嘔吐、下痢	便	12.08	<i>Norovirus</i> G II
41	1歳	女	感染性胃腸炎	嘔吐、下痢、けいれん	便	12.09	<i>Norovirus</i> G II
42	4歳	男	感染性胃腸炎	嘔吐、下痢	便	12.14	<i>Norovirus</i> G II
43	8歳	男	感染性胃腸炎	嘔吐、下痢	便	12.11	<i>Norovirus</i> G II
44	2歳	男	感染性胃腸炎	37.7℃、嘔吐	便	12.11	<i>Norovirus</i> G II
45	7歳	男	感染性胃腸炎	36.9℃、嘔吐	便	12.11	<i>Norovirus</i> G II
46	8歳	女	感染性胃腸炎	36.0℃、嘔吐、鼻汁	便	12.11	<i>Norovirus</i> G II
47	11ヵ月	男	感染性胃腸炎	37.1℃、嘔吐、下痢	便	12.11	<i>Norovirus</i> G II
48	8ヵ月	男	感染性胃腸炎	37.5℃、嘔吐	便	12.11	<i>Norovirus</i> G II
49	10歳	女	感染性胃腸炎	腹痛、嘔気、下痢	便	12.10	<i>Sapovirus</i>
50	4歳	女	感染性胃腸炎	嘔吐、下痢	便	12.09	<i>Norovirus</i> G II
51	3歳	女	感染性胃腸炎	嘔吐、下痢	便	12.07	<i>Norovirus</i> G II
52	3歳	男	感染性胃腸炎	36.5℃、嘔吐・嘔気、下痢	便	12.06	<i>Norovirus</i> G II
53	41歳	男	インフルエンザ	39.8℃、関節痛	咽頭ぬぐい液	12.20	<i>Influenza virus</i> AH1pdm
54	3ヵ月	女	感染性胃腸炎	嘔吐、下痢	便	12.20	<i>Norovirus</i> G II
55	2歳	男	感染性胃腸炎	39.0℃、嘔吐・嘔気	便	12.17	<i>Norovirus</i> G II
56	1歳	女	感染性胃腸炎	38.0℃、嘔吐、下痢	便	12.21	<i>Norovirus</i> G II
57	2歳	男	感染性胃腸炎	37.0℃、嘔吐、下痢	便	12.21	<i>Norovirus</i> G II
58	2歳	女	感染性胃腸炎	39.4℃、嘔吐	便	12.21	<i>Norovirus</i> G II

病原体検出状況

臨床診断名	病原微生物	搬入月												総計	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	Streptococcus pyogenes T-1			1		1	2								4
	Streptococcus pyogenes T-4		1	1	1					1	1	1		2	8
	Streptococcus pyogenes T-12	2		1	1	1			1						6
	Streptococcus pyogenes T-25					1	1								2
	Streptococcus pyogenes T-UT						1					1	1		3
	計	2	1	3	2	3	3	1	1	1	2	2	2	23	
インフルエンザ	AH1pdm	84	28	2											117
	AH3										1	1	1	3	
	Enter-NT						1				2	1		1	
	hMPV				1										1
	計	84	28	2	1		1				3	2	1	122	
咽頭結膜熱	Adeno 1					2	1							3	
	Adeno 2		1			1	4	4	2	5	1	4	1	23	
	Adeno 3								3	4	2	2		11	
	Adeno 5			1					1					2	
	Enter-NT													1	
	Rhinovirus													1	
	PIV-2													1	
	Saffold-NT									1				1	
		計		1	2		3	8	4	6	10	3	4	1	42
	感染性胃腸炎	Polio 1									1				1
Noro G I				1	1									2	
Noro G II		15	20	18	8	6						10	30	107	
Noro G I・G II				1										1	
Sapo			1	2	4	2	1			1		3	2	16	
Adeno 1				1										1	
Adeno 2		1						1						2	
Adeno 5										1				1	
Enter-NT							1	1						2	
Adeno 40/41		4	3	1				1					1	10	
Enter-NT							1	1						2	
Parecho 1									1					1	
Parecho-NT		1									1	1		3	
A型肝炎ウイルス(HAV)			1											1	
CA5					1									1	
Campylobacter jejuni		1	1	2	2			3	1		3			13	
Campylobacter coli													1	1	
Staphylococcus aureus				1	1									2	
Salmonella Enteritidis												2		2	
Rota-A	1		1	15	5	3		1					26		
Polio-2												1	1		
Adeno 40/41・Parecho-NT												1	1		
	計	23	26	28	32	14	6	5	3	3	6	9	32	187	
ヘルパンギーナ	Polio 2						1							1	
	Adeno 3											1		1	
	Adeno 5													1	
	Enter-NT						1	2						3	
	Enter-NT						1							1	
	Rhinovirus 90・Enter-NT			1										1	
	Parecho-NT									1	1			2	
	CA2				2	5	4		1					12	
	CA4								2	1				3	
	CA5	1		2	1	2	1							7	
	PIV-3						1							1	
	HSV-1											1		1	
	Saffold-2									1				1	
	計	1	3	1	4	11	6	4	2	1	2		35		
手足口病	Adeno 2					1								1	
	Enter-NT			1	1	19	41	9	12	3				86	
	Enter-NT	1			1									2	
	CA2					1								1	
	CA4								1					1	
	CA5					1								1	
	CA16									1				1	
	Parecho 3									1				1	
	HSV-NT					1								1	
	計	1		1	2	23	41	9	13	5				95	
百日咳	Bordetella pertussis													1	
	Mycoplasma pneumoniae	3	2	2	2	1						2		12	
	計	3	2	2	2	1						2		13	
RSウイルス感染症	Noro G II			1										1	
	Enter-NT			1										1	
	CA9			2										2	
	Human bocavirus (HBoV)			1										1	
	RSV-A		1											1	
	計		1	5										6	
無菌性髄膜炎	Enter-NT						1	1		1				2	
	CB4								1					1	
	PIV-2			1										1	
	計			1			1	1	1					4	
マイコプラズマ肺炎	Bordetella pertussis		1					2	2	6	4	1	3	4	
	Mycoplasma pneumoniae			2				2	2	6	4	1	3	4	
	計		1	2				2	2	6	4	1	3	4	
その他	Adeno 1					1								1	
	Adeno-NT				1		2							3	
	CA2						1							1	
	CA4							1						1	
	CA9						1							1	
	Enter-NT							3	3	1				4	
	Enter-NT					1	3	2	1					7	
	Enter-NT					1		2	1					4	
	Enter-NT・Adeno-NT			1										1	
	hMPV		1		1	1								3	
	HSV-1								1					1	
	Human bocavirus (HBoV)							1						1	
	Parecho 1													1	
	Parecho-NT										1			2	
	PIV-2				1									1	
	PIV-3					1	7			1				9	
	Rhinovirus							2	1		1			4	
RSV-A		1	1					2					4		
Saffold-NT								1			1		2		
Sapo													1		
Mycoplasma pneumoniae			1	1	1	2	2	1					8		
	計		2	3	4	6	20	13	9		3		60		
	総計	114	62	52	44	54	93	41	43	25	19	35	41	623	

インフルエンザ有効防御免疫状況について（速報）

本年度は、次の4抗原に対する抗体価について、インフルエンザ流行シーズン前の抗体保有状況（県内544名：感受性調査）を調査した。

- 1 *A/California* (カリフォルニア) /7/2009pdm (H1N1:新型)
- 2 *A/Victoria* (ビクトリア) /210/2009 (H3N2:A香港型)
- 3 *B/Brisbane* (ブリスベン) /60/2008 (ビクトリア系統)
- 4 *B/Florida* (フロリダ) /4/2006 (山形系統)

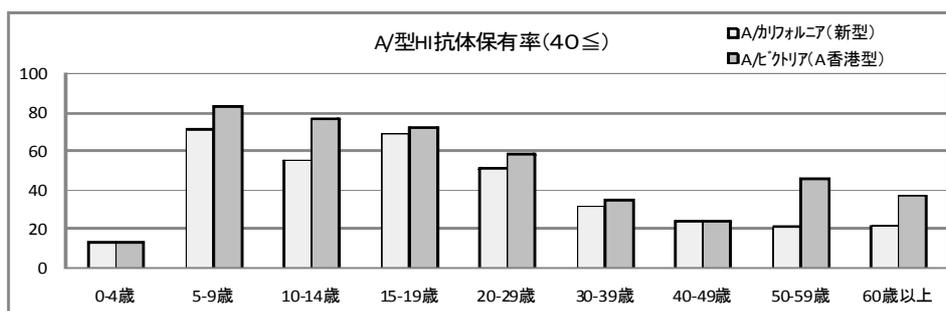
そのうち1～3が2010/11シーズンのワクチンに使用されている株である。A型はH3N2:A香港型のワクチン株が、2009/10シーズンのA/Uruguay (ウルグアイ) /716/2007から本ウイルス株に変更となった。B型は2009/10シーズンと同一の株が選定されている。

感染を防御できる抗体保有率（有効防御免疫の指標とみなされるHI抗体価40倍以上：以下、抗体保有率という）の全年齢群平均はH1N1:A新型44.5%、H3N2:A香港型53.5%、B型ビクトリア系統のBrisbane (ブリスベン) 30.1%、B型山形系統のFlorida (フロリダ) 30.7%であった。

1 A型のHI抗体保有率

A/California (カリフォルニア) /7/2009pdm (H1N1:新型)の抗体保有率は5～9歳で71.8%、15～19歳で69.4%、10～14歳で55.7%、20～29歳で51.8%と高い保有率であるが、30～39歳で31.9%とやや低かった。その他の年齢層は25%を下回った。

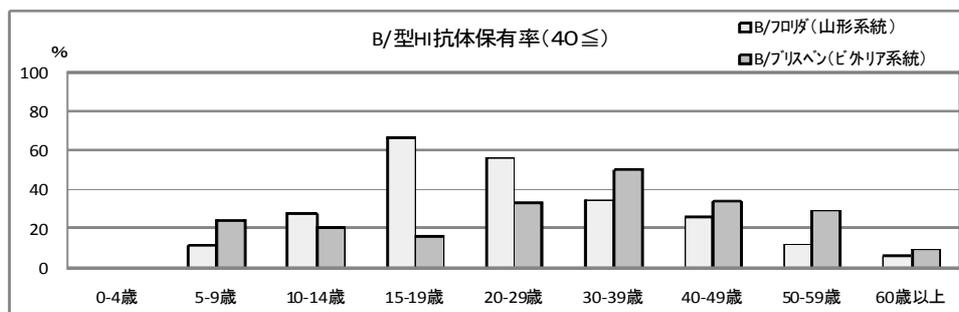
A/Victoria (ビクトリア) /210/2009 (H3N2:A香港型)の抗体保有率は5～9歳で83.5%、10～14歳で77.2%、15～19歳で72.7%、20～29歳で59.0%と高い保有率であるが、50歳代で45.8%、60歳以上で37.5%、30歳代で35.4%、とやや低かった。その他の年齢層は25%を下回った。



2 B型のHI抗体保有率

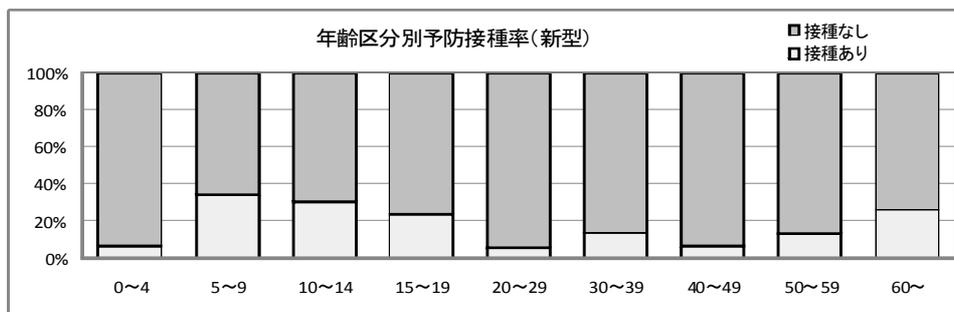
B/Brisbane (ブリスベン) /60/2008 (ビクトリア系統)の抗体保有率は30歳代で50.4%と高い保有率であるが、20歳代で33.7%、40歳代で33.8%とやや低かった。その他の年齢層は30%を下回った。

B/Florida (フロリダ) /4/2006 (山形系統)の抗体保有率は15～19歳で66.7%、20歳代で56.6%と高い保有率であるが、30歳代で34.5%、10～14歳代で27.8%、40歳代で26.0%とやや低かった。その他の年齢層は15%を下回った。

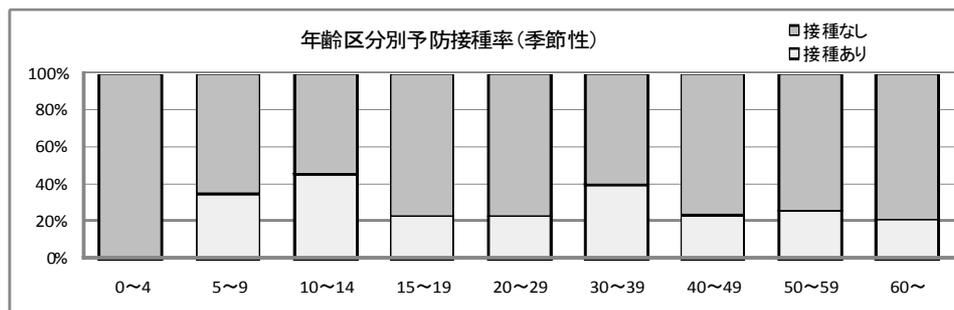


3 年齢区分別予防接種率

新型インフルエンザワクチンの全年齢層での平均接種率は18.2%で、5～9歳で34.2%、10～14歳で30.6%、60歳以上で25.8%、15～19歳で24.2%であった。その他の年齢層は15%を下回った。



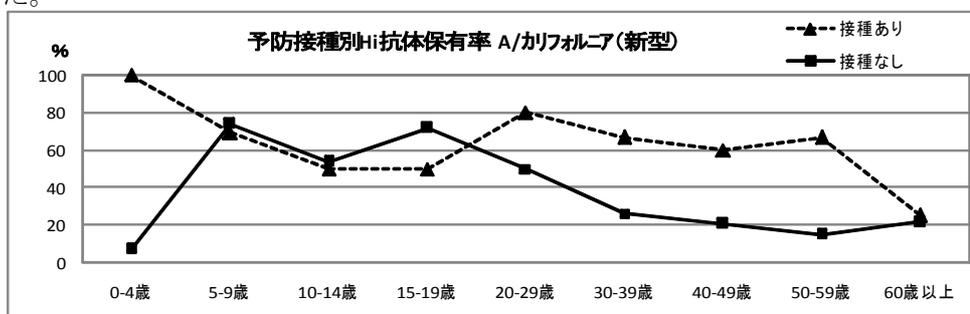
季節性インフルエンザワクチンの全年齢層での平均接種率は31.2%で、10~14歳で45.5%、30歳代で40.0%、5~9歳で35.3%であった。その他の年齢層は30%を下回った。



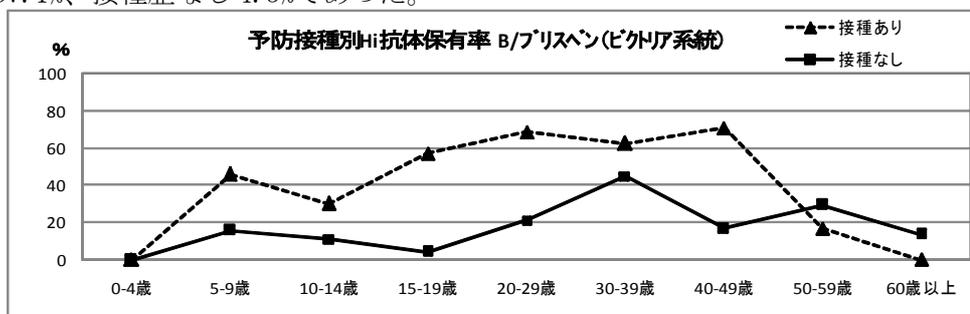
4 予防接種歴別抗体保有率

本年度、ワクチン株になったA/California(カリフォルニア)/7/2009pdm(H1N1:新型)とB/Brisbane(ブリスベン)/60/2008(ビクトリア系統)の予防接種歴別抗体保有率について比較してみた。

A/カリフォルニアでは、予防接種歴ありの抗体保有率は60歳以上を除いて50%以上であった。5~19歳で予防接種歴なしが接種歴ありを上回り最も大きな差がみられたのは15~19歳で、接種歴なし72.0%、接種歴あり50.0%であった。



B/ブリスベンは、5歳~49歳で予防接種歴ありが接種歴なしを上回る抗体保有率であった。接種歴ありが0~4歳と60歳以上は0名、50~59歳は1名のため比較ができなかった。最も大きな差がみられたのは、15~19歳で接種歴あり57.1%、接種歴なし4.3%であった。



5 まとめ

昨シーズンのインフルエンザ流行のピークは新型インフルエンザの出現により例年の1月下旬から11月下旬と早くなり、患者報告数が減少し一桁になるのも5月中旬から3月中旬と早くなった。また、患者数は18,702人で一昨年を約5,000人上回った。

今シーズンはすでに全国で患者の報告数が急増し、AH1型株、AH3型株及びB型株の全ての株が検出されており、流行が始まりそうである。県内でも患者が報告されており、予防対策としてうがいや手洗いなど日常の注意に加え、早めのワクチン接種が必要である。

2 風しん

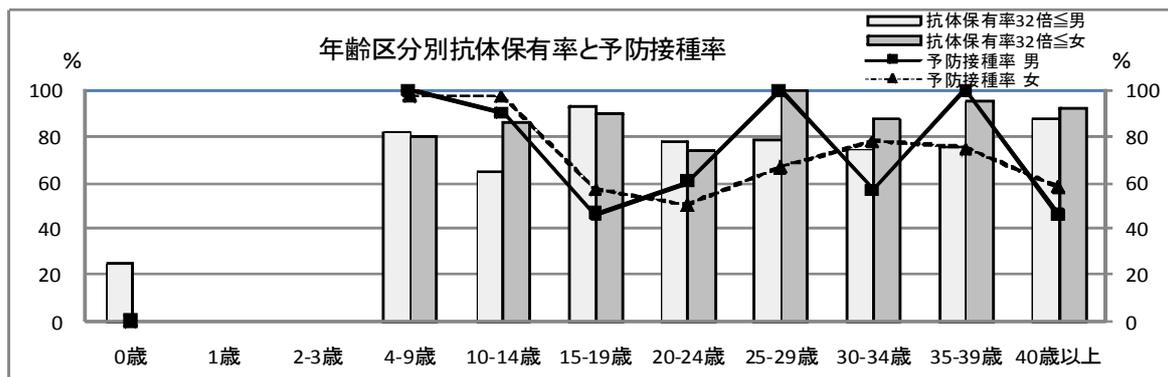
表2に赤血球凝集抑制試験(HI試験)による年齢区分別風しん抗体価と風しんワクチン接種率を示した。風しんのワクチン接種率は、麻しんと同様に接種履歴不明と回答した集団を除いた値である。風しん抗体陽性である8倍以上の抗体保有率は男性85.3%、女性94.6%、全体では89.7%であったが、感染を防御できると考えられる32倍以上の抗体保有率は男性76.8%、女性87.3%、全体では81.8%であり昨年度(77.3%)を上回った。女性の32倍以上の抗体保有率は、0歳を除き20~24歳で73.7%、4~9歳で80.0%、10~14歳で86.1%、30~34歳で88.0%でありその他の年齢群は90%以上であった。また、男性における32倍以上の抗体保有率は、0歳を除き10~14歳で65.1%と低く、15~19歳で93.3%、40歳以上で87.7%、4~9歳で82.5%と比較的高く、その他の年齢群は70%台であった。(図2)。

今回の結果から、麻しんと同様に1回目ワクチンの早期接種と、その後の時間の経過とともに免疫が減衰した方たちに2回目のワクチン接種により免疫を強固にする必要がある。風しんは、妊娠初期の妊婦が感染すると胎児に先天性風しん症候群が高率で発症する疾患であることから、出産にかかわる可能性が高い年齢層の女性は妊娠前からの積極的な抗体価の確認検査や予防接種の実施が必要である。また、男性においてもこの年齢層は妊娠・出産・育児に関わる機会の多い年齢層であり、風しんに罹患した場合、女性への感染源になり得るという視点を忘れず、抗体価の確認検査や積極的なワクチン接種が求められる。

表2 年齢区分別 風しんHI抗体価分布

年齢区分	性別	検体数	風しん抗体価								抗体保有率(%)		風しんワクチン接種率	
			<8倍	8倍	16倍	32倍	64倍	128倍	256倍	512倍	1024倍≤	8倍≤		32倍≤
0歳	男	12	7	1	1	2					1	41.7	25.0	0.0
	女	3	3									0.0	0.0	0.0
	計	15	10	1	1	2	0	0	0	1	0	33.3	20.0	0.0
1歳	男	0										0.0	0.0	0.0
	女	0										0.0	0.0	0.0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0
2-3歳	男	0										0.0	0.0	0.0
	女	0										0.0	0.0	0.0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0
4-9歳	男	40	1		6	11	10	10	1	1		97.5	82.5	100.0
	女	45	2	3	4	9	9	14	3	1		95.6	80.0	97.7
	計	85	3	3	10	20	19	24	4	2	0	96.5	81.2	98.8
10-14歳	男	43	5	2	8	9	10	5	3	1		88.4	65.1	90.5
	女	36	3		2	6	12	9	4			91.7	86.1	97.2
	計	79	8	2	10	15	22	14	7	1	0	89.9	74.7	93.6
15-19歳	男	15	1			3	4	5	1	1		93.3	93.3	46.2
	女	21	1		1	2	8	6	2	1		95.2	90.5	57.1
	計	36	2	0	1	5	12	11	3	2	0	94.4	91.7	51.9
20-24歳	男	23	3		2	1	4	6	3	4		87.0	78.3	60.0
	女	19	2	1	2	1	7	3	3			89.5	73.7	50.0
	計	42	5	1	4	2	11	9	6	4	0	88.1	76.2	54.5
25-29歳	男	19	3		1		6	3	5	1		84.2	78.9	100.0
	女	22				5	9	4	2	1	1	100.0	100.0	66.7
	計	41	3	0	1	5	15	7	7	2	1	92.7	90.2	75.0
30-34歳	男	35	9			4	3	6	9	4		74.3	74.3	57.1
	女	25	2		1	4	5	6	5	2		92.0	88.0	77.8
	計	60	11	0	1	8	8	12	14	6	0	81.7	80.0	68.8
35-39歳	男	33	7	1		1	4	8	10	1	1	78.8	75.8	100.0
	女	20			1	3	3	6	4	3		100.0	95.0	75.0
	計	53	7	1	1	4	7	14	14	4	1	86.8	83.0	84.6
40歳以上	男	65	6		2	2	6	22	16	7	4	90.8	87.7	45.5
	女	68	1		4	6	9	17	16	7	8	98.5	92.6	58.1
	計	133	7	0	6	8	15	39	32	14	12	94.7	90.2	52.8
総計	男	285	42	4	20	33	47	65	48	21	5	85.3	76.8	73.6
	女	259	14	4	15	36	62	65	39	15	9	94.6	87.3	78.6
	計	544	56	8	35	69	109	130	87	36	14	89.7	81.8	76.2

図2 風しん 年齢区分別抗体保有率(%)と予防接種率



* 1歳及び2~3歳は対象者なし